

海南島開発計画（海口港）



第1・2バースに設置された荷役機械

[借款概要]

承諾額/実行額	2,589百万円 / 2,589百万円
借款契約調印	1991年10月
借款契約条件	金利2.6%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1996年11月

[事業概要]

海南省の玄関港である海口港にバースを増設するとともに、荷役機械を拡充することにより、貨物取扱能力の向上を図り、同島の経済発展に寄与するもの。

[評価結果]

海南省は1988年に省に昇格すると同時に経済特区となりインフラ整備が重要課題とされていた。本事業は並行して実施された道路・通信網整備とあわせて円借款が供与されたものであり、新たなバース（年間取扱量80万トン、1万トン級×2基）を増設するとともに、40トン多用途クレーンやコンテナ積降し設備の調達・据付を行った。

本事業が対象とした2バースは1992年末に完成し、その後、概ね計画値を上回る貨物取扱実績を示している。また、海口港全体の取扱能力も大幅に増加し、2000年には1990年比2.8倍の約800万トンとなった。一方、船舶の平均停泊日数は1990年の3.9日から2000年には2.2日へと減少しており、本事業は海口港の輸送需要への対応と貨物の積み替え・停泊待ちに係る費用の削減を通じて、輸送効率の改善に寄与したものと評価される。

なお、設備の運営については実施機関により適正に行われており、維持管理のための予算・要員に問題は見られない。